

# 平成29年度地域女性活躍推進事業【山形県】

## 地域の実情と課題

市町村における男女共同参画計画の策定率は、H28年度末で62.9%と低く、併せて女性活躍推進計画の策定市町村を増やすため、全県的な気運醸成・県民各層の意識改革を図るとともに、地域レベルでの取組みにより、女性活躍を促進することが必要となる。

## 目的・目標

- ・山形いきいき子育て応援企業実践・優秀企業数（H29年度末目標 195社）
- ・市町村における男女共同参画計画及び女性活躍推進計画の策定率（H32年度 100%）

## 事業の特徴

各地域の課題に応じた事業の展開

- ・酒田市 市民意識の向上を図るフォーラムの開催等
- ・中山町 イクボス養成講座等
- ・最上地域 中学生とのトークセッション、ホームページによる地域の女性のロールモデルの発信。
- ・置賜地域 民間企業を対象としたワーク・ライフ・バランスライフセミナーの開催。
- ・庄内地域 研究会を設置し、研修プログラムの検証結果を管内企業へ情報提供。

## 連携団体

やまがた女性活躍応援連携協議会 17機関・団体

## 事業の効果

- ・山形いきいき子育て応援企業実践・優秀企業数は、H30年3月末時点で203社となり、目標数195社を上回った。
- ・市町村における男女共同参画計画の策定率は、65.7%と増加した。

## 今後の課題

- ・市町村における男女共同参画計画の策定率は、65.7%、女性活躍推進計画の策定率は48.5%と増加したものの引き続き、100%の策定率を目指し促進を図る。

# 事業の概要

## (1) 最上地域：若者向け女性活躍モデル発信事業

### 【事業概要】

最上地域において、活躍している女性を「ロールモデル」として、インターネットを媒体に周知する。インターネットを利用することにより、特に若年層が、女性が社会で活躍している姿にふれることができ、早期に社会での活躍への自信・意欲等をはぐくむことができる。

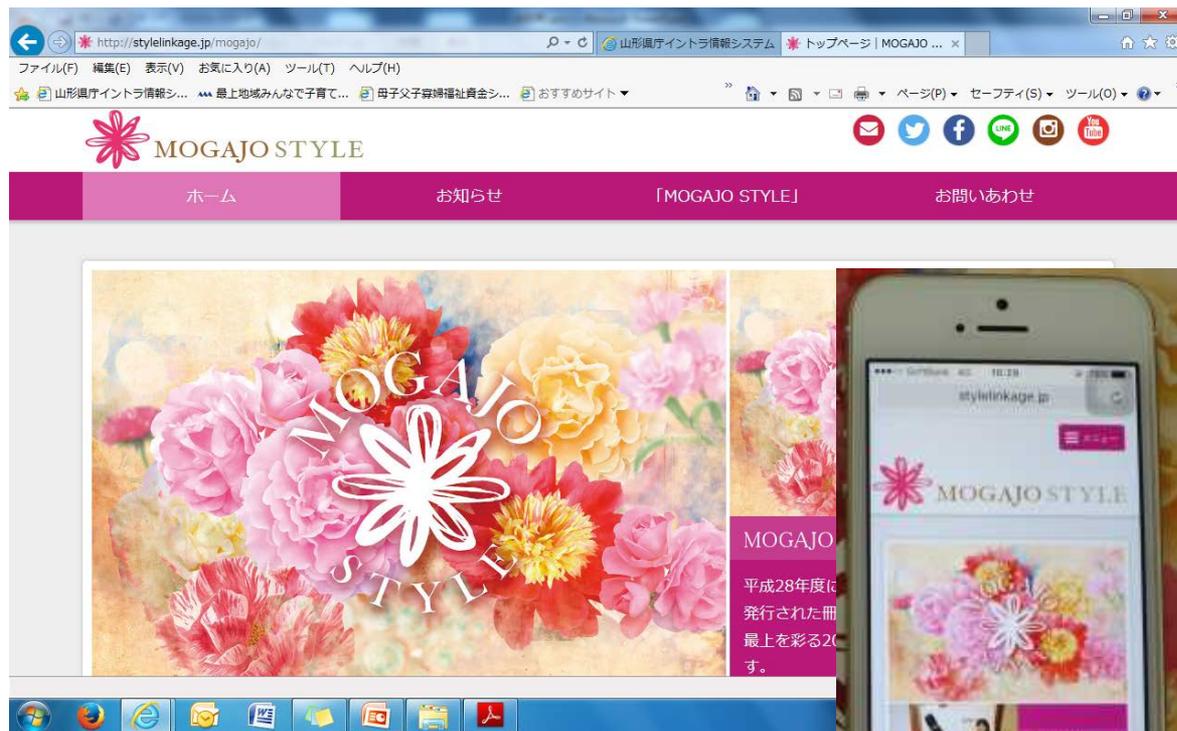
### 【ホームページ】

H29.6月～H30.3月  
ビュー総数 2,463件

### 【事業効果】

若者向けにモバイル版のホームページを作成したことにより、最上地域で活躍している女性の周知が図られた。

↓女性の活動を高校生向けに紹介するイベントで周知等



### 【今後の課題】

ホームページの周知を推進していく。

# 置賜地域ワーク・ライフ・バランスセミナー

## 事例発表

### ワークライフバランスについて

エヌ・デーソフトウェア株式会社 人材開発部 濱田真美加氏

女性活躍推進のための提言を取りまとめ(PANDAプロジェクト)、プロジェクトを推進していくことにより、男女ともに働きやすい職場作りを推進

- ・育児・介護・妊娠社員のための短時間勤務制度の緩和
- ・産休・育休等を取得した職員がスムーズに復帰できるよう復職前からの定期的な面談
- ・時間単位で取得できる有給休暇の導入など

## 行政での取り組み発表

### 第2次米沢市男女共同参画基本計画の概要について

米沢市総合政策課 四柳敬子氏

- ・米沢市で今年度策定した男女共同参画基本計画の概要説明

### 山形いきいき子育て応援企業 登録・認定企業へのサポートについて

置賜総合支庁子ども家庭支援課 二瓶秀憲

- ・山形県がワーク・ライフ・バランス推進のために行っている「山形いきいき子育て応援企業登録・認定制度」について説明を行った



# 地域女性活躍応援事業

## 庄内地域：女性の働き方を考える庄内モデル事業の実施

庄内地域の女性全体が、働くことで社会とつながる意欲を持ち、自らが選択し主体的に仕事をする価値観の形成を促すことを目的に、地元の関係団体等と研究会を設置し、連携してモデル講座(サロン)を実施。

【研究会(LAB)】構成機関：関係団体、教育機関、市町(オブザーバー)、庄内総合支庁

【講座(サロン)】対象：管内企業から推薦された若手～中堅の女性職員

### 第1回研究会

(H29.8.1)

- ・課題抽出
- ・講座内容の検討 等

### 第2回研究会

(H29.8.22)

- ・講座内容の決定
- ・講師選定 等

### 3回講座「ワタシが生きる、ライフワークサロン」

#### 第1回 (H29.10.20)

受講者23名

★講話

講師：伊藤真知子氏  
(東北公益文科大学)

★パネルディスカッション

&グループワーク  
パネリスト：県内企業等で活躍する女性3名

#### 第2回 (H29.11.17)

受講者17名

★講話

講師：伊藤真知子氏  
(東北公益文科大学)

★講座

講師：石山由美子氏  
(NPO法人山形の公益活動を応援する会アミル)

#### 第3回 (H29.12.8)

受講者18名

★講話

講師：伊藤真知子氏  
(東北公益文科大学)

★講座

講師：佐竹陽一氏  
(日本ファシリテーション協会)

### 第3回研究会

(H30.2.6)

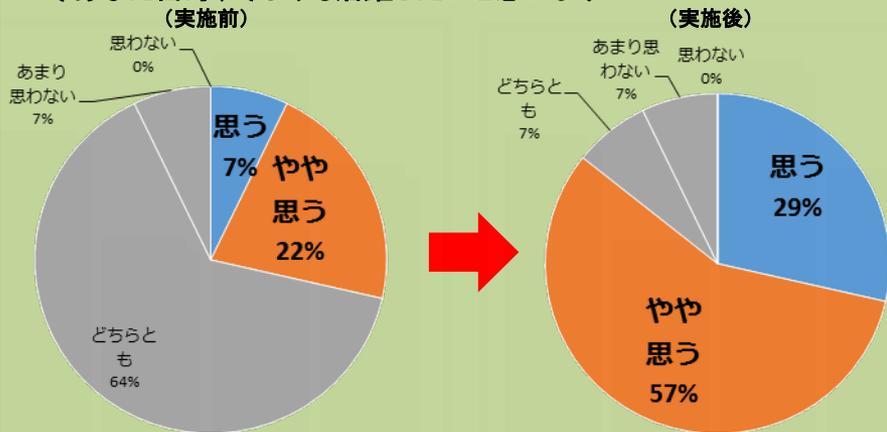
- ・アンケート結果報告
- ・講座内容総括 等

### レポート作成・配布

プログラム内容を管内企業等へフィードバック

### ■受講者の意識の変化(受講者へのアンケート結果より)

Q.あなた自身、今よりも活躍したいと思いますか？



### ■受講者の感想(アンケートより抜粋)

- ・ 様々な職業や立場、年代の方の考えを聞くことができ、とても参考になりました。
- ・ 女性・自分の得意分野を生かして自分が誰かのロールモデルになったらステキだと思いました。
- ・ 「女性だから〇〇できない」は当たり前のことではないのだと気付きました。



## 事業の概要

### イクボス普及・拡大事業

「やまがた企業イクボス同盟」の活動などにより県内のイクボス企業を拡大

#### 《イクボス研修会の開催》

平成30年1月23日(火) 開催

##### 【基調講演】

講師：NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事/ファウンダー

安藤 哲也 氏

##### 【グループディスカッション】

テーマ「イクボスのすべきこと」

意識改革・業務改善・自らのワーク・ライフ・バランスなど、イクボスが実践すべきことを自社の実情も交えながら意見交換

【参加者】県内企業経営者など94名

【会場】山形テルサ(山形市)



#### 《イクボス同盟企画・運営チームの発足・会議開催》

イクボス同盟の活動をより活発に、かつ効果的・継続的に実施していくため、同盟企業有志による「企画・運営チームを」発足し、定期的に会議を開催

現在のチームメンバーは12社12名

9月～3月(本交付金事業期間)の間に3回の会議を開催し、イクボス研修会をより効果的に実施するための内容検討や、イクボスを県内に普及するための取組みなどについて議論

#### 《イクボス同盟加盟企業拡大》

加盟企業数 212社(平成29年度末)

9月～3月(本交付金企業期間)の間に51社増加し県内にイクボスが企業拡大加盟企業は卓上のぼり旗を受付や玄関ホールなどに掲示しイクボスをPR



卓上のぼり旗

# 事業の概要

## 【酒田市女性活躍推進懇話会】

副市長を座長とし、国、県、関係機関、学識経験者等による委員13名(男性2名、女性11名)により、本市の現状把握、情報共有、事業内容協議・実施、提言、検証等について年間5回開催。



## 【酒田市民フォーラム】

「女性が輝き、酒田も輝くためのエッセンス」  
女性活躍の意義の啓発、本市の情報共有、実態把握のため開催。

10月1日 酒田市公益研修センター  
参加者 第1部200名、第2部 第1分科会19名、第2分科会10名、第3分科会12名

【第1部】パネルディスカッション「酒田市の働く女性のいまとこれから」

【第2部】分科会

- 分科会1 女性が働きやすい職場の作り方
- 分科会2 子育てや介護をしながらいきいきと働く
- 分科会3 酒田で魅力的な仕事に就く&創る！



第1部パネルディスカッション



第2部分科会

## 【企業向けセミナー】

事業主に向けて、女性活躍の意義の理解、意識啓発を図るため関係機関と連携して開催。

11月9日 酒田市公益研修センター

参加者 300名

「日本企業の中で輝き続けている方たちの鼎談」  
酒田商工会議所創立120周年記念特別講演事業共催

## 【働く女性活躍促進リーフレット】

受け手に対して効果的に周知を図るため、事業主向けと働く女性向けに分けて、国、県、市の各種支援制度等をまとめたリーフレットを作成し、関係機関と連携して配布した。

## 【女子高生が地域でキラリと輝く女性の先輩と語り合い、学び合うシンポジウム】

地域で働く女性と高校生が語り合うことによって、働く女性、高校生ともに気づき、学び、考える機会を創出し、今後の自身の活躍につなげてもらうことを目的として開催した。

12月25日 県立酒田光陵高等学校

参加者

先輩：地域で働く女性(商業・経営系、事務系、福祉系、まちづくり系等)10名  
高校生：県立酒田光陵高等学校1年生39名



# イクボス養成講座

## 職場の魅力と業績UP！

平成29年度 中山町イクボス養成講座  
地域女性活躍推進交付金事業

## イクボス式マネジメントとは

### ◎イクボスとは？

職場で共に働くスタッフのワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむ上司のこと。

育児や介護に取り組む社員など、様々なスタッフがいる中で、どんなスタッフでも自分の能力を発揮できる働きやすい職場環境づくりは、職場の業績だけでなく魅力アップにもつながると考え、経営戦略としてワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業も増えています。

ボスの覚悟が職場を変える！  
イクボスの効果や役割、実践のポイントを聞いて、働き方改革を始めてみませんか？

6月11日(日)  
午後  
2時～4時



### 会場：

中山町中央公民館  
第1・2会議室

### 対象：

中山町及び近隣の企業・団体・事業所等の  
管理職・人事担当者の方、  
ワーク・ライフ・バランスに関心のある方

### 内容：

- ①講演
- ②利用できる国・県の制度や事業の紹介
  - ・山形いきいき子育て応援企業
  - ・やまがた企業イクボス同盟 など

参加料： 無料

主催： 中山町



### 講師

NPO法人  
ファザーリング・  
ジャパン 代表理事  
安藤 哲也 氏

1962年生。出版社、IT企業など9回の転職を経て、2006年にNPO法人を設立。講演やセミナー、絵本読み聞かせなどで全国を歩く。「イクメンプロジェクト推進チーム」顧問、ヒッピー子育て応援団 共同代表。3児の父親。

### 参加申し込み：

6月7日（水）まで氏名、電話番号を電話、FAX  
またはメールでお申し込みください

### 申し込み・お問合せ：

中山町政策推進課 政策企画グループ  
TEL 662-4271 FAX 662-5176  
E-mail kikaku@town.nakayama.yamagata.jp

## ○働きやすい職場づくりを

管理職や人事担当者を対象としたイクボス養成のための事業を実施することで、労使ともに働きやすい職場づくりへの取組みを促進する。

## ○この事業の特徴と展開

平成28年11月に山形県で行われた「ファザーリング全国フォーラム」から時期をあけず早期に事業を実施することで、女性活躍推進に取り組む企業のさらなる機運醸成をはかり、また事業に合わせ町が町長および管理職等によるイクボス宣言を行うことで、地域全体で女性活躍推進に取り組む機運の醸成を目指す。

# 平成29年度女性活躍推進事業【山形県】

## 地域の実情と課題

本県は、出産・育児後も長く勤め続ける傾向がある一方、30~34歳を底とするM字カーブを描いており、結婚、出産等を理由に離職した女性の再就業や働く女性が就業継続できる職場環境づくりが必要である。

また、県内企業における女性の管理職登用率は13.6%で、県男女共同参画計画及び女性活躍推進計画の目標値21%に達していない。

## 事業の特徴

これから働こうとする女性一人ひとりのニーズに応じて、ワンストップで支援する相談窓口「マザーズジョブサポート庄内」を設置運営する。

女性自身の意識改革と能力向上のための講座のほか、企業トップの意識改革を図るフォーラムの開催を行う。また、異業種の女性のネットワーク化を図り、管理職として活躍できる女性人材の育成につなげる。

## 事業の効果

・マザーズジョブサポート庄内では、個別相談やセミナーの実施、託児の提供等により総合的にサポートし、37件の就職につながった。

・女性管理職養成プログラムの講座後には、「自分が管理職になる」イメージができるようになった参加者が34%から60%へ増加した。

・山形いきいき子育て応援企業実践・優秀企業数は、160社(H29年1月)から、203社と増加した。

## 目的・目標

出産・子育て世代の女性に対する支援の充実を図る。  
また、企業で働く女性、これから働く女性等、さまざまな状況にある女性や企業経営者に対し、本事業の実施により、女性の活躍の促進を図る。  
・山形いきいき子育て応援企業実践・優秀企業数（H29年度末目標 195社）

## 連携団体

やまがた女性活躍応援連携協議会 17機関・団体

## 今後の課題

女性自身の意識改革を図ってきたが、今後はさらに女性のキャリア形成の推進につなげていく。

# 事業の概要

## マザーズジョブサポート庄内設置運営事業

H29.10.18(水) 酒田市役所中町庁舎内にオープン

結婚、出産、育児等の理由で離職している方の就職支援のため、山形県と山形労働局が連携しワンストップで支援する相談窓口。

「マザーズジョブサポート山形」(山形市)に続き、県内2か所目となる「マザーズジョブサポート庄内」を庄内地域に開設。



### 《主な支援》

- ・ 相談員による相談対応
- ・ セミナーの開催
- ・ 相談中や就職面接中の託児サービス
- ・ ハローワークへの出張相談
- ・ 就職面接用のスーツ・バッグ・靴等の貸出 など

### 平成29年度の成果

県相談窓口利用者数	249 件
就職者数	38 件

## 企業向けフォーラムの開催

H30.1.17(水) 希望ホール(酒田市) 41名参加

### 女性も男性も働きやすい企業を目指して

#### 【講師】

(株)庄内銀行 働き方創造室長 佐藤 由美 氏

#### 【パネルディスカッション】

(有)菅原運送、林建設工業(株)

〔コーディネーター 佐藤 由美 氏〕

#### 【情報提供】

山形労働局雇用環境・均等室



# 事業の概要

## 女性のキャリア形成・管理職登用支援事業

### (1) 女性管理職養成プログラムの開催

県内企業等で中堅として働く女性 22人 参加

働く女性が自らのキャリアプランを考え、管理職として必要なビジネスセンスや実践力を身に付けるため、講師による講演と多彩なワークを取り入れた全3回の講座を開催。

第1ターム： H29.8.3(木)

(株)日本マンパワー  
研究開発専門課長  
小出 真由美 氏

講師

第2ターム： H29.8.24(木)

東北公益文科大学  
大学院公益学研究科長・教授  
伊藤 眞知子 氏

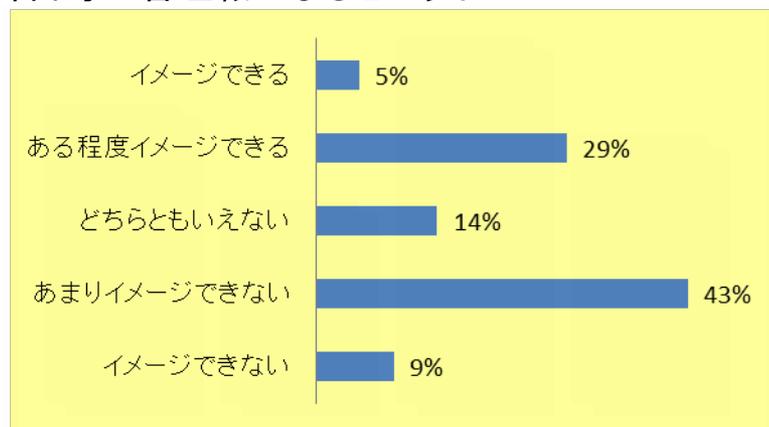
第3ターム： H29.9.27(水)

株式会社資生堂  
顧問 関根 近子 氏

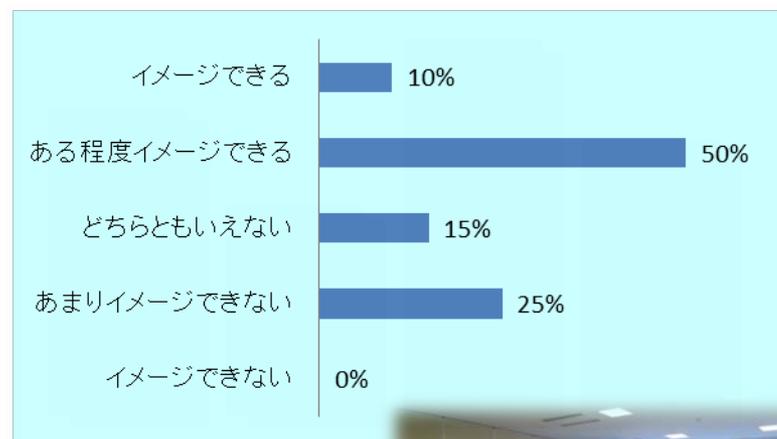
### 御自身が管理職になるというイメージについて

※参加者アンケートより

【事前】



【事後】



《参加者の声》※アンケートより一部抜粋

- ・多種職業の方々と話をするととても勉強になり、皆様色々なことに悩みながら生きているんだと感じ、ちょっと安心しました。
- ・体験談も含めてとても心にしみました。不安な気持ちが軽くなりました。
- ・今後の自分の人生設計を考えるきっかけになる講座でした。



# 事業の概要

## 女性のキャリア形成・管理職登用支援事業

(2) やまがたウーマノミクス・ネットワーク形成事業 H29.11.26(日) 山形国際ホテル 約70名参加

県内で働く女性が交流し、悩みや課題を共有し、ロールモデルのアドバイスをいただくことで、モチベーションアップや意識改革につなげ、リーダーや管理職として活躍できる人材を育成するもの。

### 第1部

講演

石塚 由紀夫 氏

日本経済新聞社編集委員/前女性面編集長

「可能性は無限大～ウーマノミクスでもっと輝くやまがたに～」

アンケートより

講演会の内容について

非常によかった

よかった

95%

### 第2部

トークセッション

(有)玉谷製麺所 明治安田生命保険

石塚由紀夫氏

トークセッションについて

非常によかった

よかった

95%

### 第3部

交流会

おいしいお茶やフルーツを楽しみながら

交流会について

非常によかった

よかった

84%



※アンケートより  
参加者の声

- ・女性の力の重要性が一層意識づけられた
- ・参加前から、非常に興味があるテーマではありましたが、参加したことにより、働く女性として自分もより輝けるように頑張ろうとパワーをいただくことができました。
- ・男性の立場から、この機運を高めていくように取り組みたい。
- ・トークセッションのゲストのお2人が仕事に誇りを持ち、楽しく働いている様子が伝わってきて、輝いて見えました。お2人のように働いていきたいと思いました。

# 事業の概要

## やまがた女性活躍応援フォーラムの開催

H29.10.24(火) ホテルメトロポリタン山形 80名参加

フォーラムに先立ち、平成29年度山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰式を開催

- 弘栄設備工業株式会社(山形市)
- 社会福祉法人 恵泉会(鶴岡市)

### 【基調講演】

小杉 俊哉 氏

慶応義塾大学大学院特任教授兼立命館大学大学院客員教授  
「女性のマネジメント～女性活躍推進とダイバーシティ～」

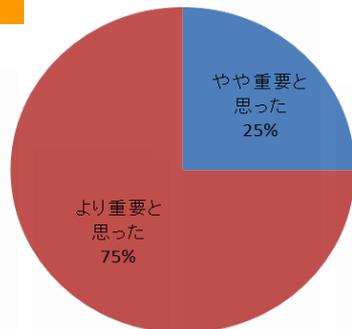
### 【パネルディスカッション】

(株)寒河江測量設計事務所  
山形市農業協同組合  
県子育て推進部 若者活躍・男女共同参画課長  
(コーディネーター 小杉 俊哉 氏)



## アンケート集計結果

本フォーラムに参加して女性の活躍推進についてどう思われましたか。



本フォーラムの参加前と参加後で、女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進について意識の変化はありましたか。

